

クオリティ・オブ・ソサエティ 指標2026



© 2026 DENTSU SOKEN INC.

➤ 本調査内容に関するお問い合わせ先

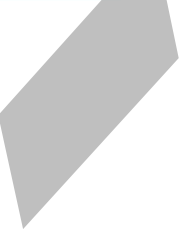
qsociety@dentsusoken.com

担当：中川、増田、齋藤

g-pr@group.dentsusoken.com

コーポレートコミュニケーション部





目次

I. 「社会の質」に関する人びとの評価

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 現在の社会の質に対する評価 | P. 7 |
| 2. 目指すべき社会像から見られる期待 | P. 9 |
| 3. 評価と期待 | P. 12 |
| 4. DX有効感 | P. 15 |

II. 社会に対する人びとの意識の現在地

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 個人の能動性・自律性 | P. 20 |
| 2. 社会集団の協調性・互助性 | P. 27 |
| 3. 社会制度の信頼性・耐久性 | P. 35 |

調査概要

- 調査時期 : 2026年6月23日～6月30日
- 調査方法 : インターネット調査
- 対象地域 : 全国
- 対象者 : 18～79歳の男女 ※高校生を含む
- サンプル数 : 12,000名（都道府県×性年代の人口構成比に合わせて回収）

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
男性	933	896	1,162	1,043	963	938
女性	901	869	1,140	1,046	1,006	1,103

- 業種排除 : なし
- 調査会社 : 電通マクロミルインサイト

※調査結果の各割合は回答者の実数に基づき算出し四捨五入で表記しているため、各割合の単純合算数値が必ずしも100%にならない場合があります。

クオリティ・オブ・ソサエティ指標について

株式会社電通総研 ヒューマノロジー創発本部 Quality of Societyセンターは、2019年以来、毎年、「人びとの意識の変化がどのような社会を形づくっていくのか」を捉えるために
定量調査「クオリティ・オブ・ソサエティ指標」をおこなっています。
2026年6月、全国12,000名を対象に「クオリティ・オブ・ソサエティ指標2026」を実施いたしました。

本調査は、主に二つの項目群から構成されます。

一つは「社会の質」に対する人びとの現在の認識と選好される方向性を探るための項目群で、
生活や社会への「実感」「評価」「目指すべき社会像」「DX有効感」について尋ねています。

もう一つは「個人」「家族・コミュニティ」「社会」の視点から、人びとの意識における社会の現在地を捉えようとするための項目群です。
今年は、日本らしい文化として魅力を感じるもの、ニューロダイバーシティなどの質問を追加しました。

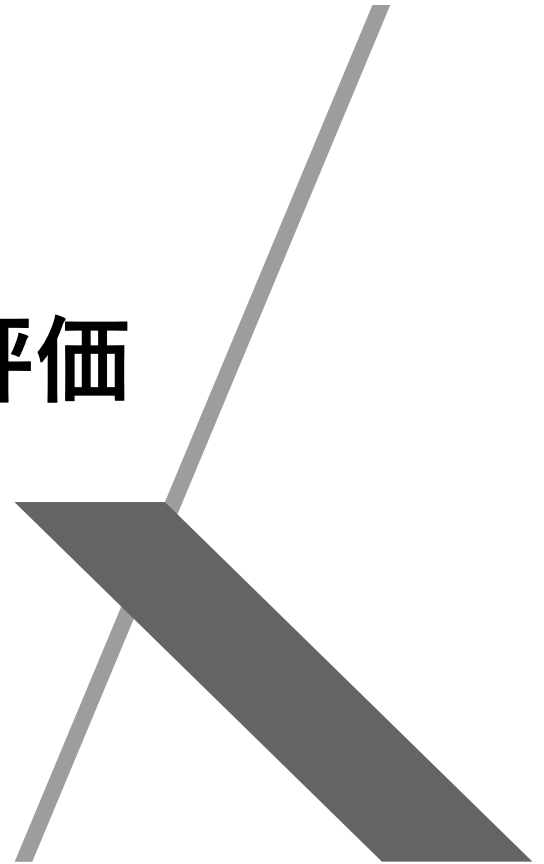
本レポートでは、時系列による変化も一部でご紹介しながら、調査結果をまとめました。
多くの分野において、社会の変化は緩やかであり、前年比較だけではその変化を捉えにくいものです。
しかし、わずかな変化の積み重ねによって5年～10年単位で人びとの意識が変わっていくこともあります。
そのような兆しを捉え、日本におけるさまざまな問題への気づきを得て
望ましい未来に向けた議論の一助となることを狙いとして、今後も本調査を継続してまいります。

<お願い>

本調査は電通総研の著作物です。

調査データの引用・使用をご希望される場合には、お手数ではございますが、表紙記載のお問い合わせ先へご一報ください。

Ⅰ. 「社会の質」に関する人びとの評価



生活や社会についての「実感」と、「社会の質」についての「評価」を次の項目で計測しています。

生活や社会についての「実感」

余力

希望

安心（不安なし）

指標
カテゴリー

余力

希望

安心

項目

- S1 自分には心の余裕（余力）がある
- S2 自分の家計には余裕（余力）がある
- S3 自分の住む地域社会には人的・財政的な余裕（余力）がある
- S4 日本には人的・財政的な余裕（余力）がある
- S5 自分の生活や仕事には希望がある
- S6 自分の住む地域社会には希望がある
- S7 日本には希望がある
- S8 世界には希望がある
- S9 自分の生活や仕事には不安がない
- S10 自分の住む地域社会には不安がない
- S11 日本には不安がない
- S12 世界には不安がない

※指標カテゴリーの「安心」は調査では「不安がある」かについてを4段階で聴取したが、余力・希望と方向をそろえるために、本レポートでは選択肢を上記のように変更し、そう思わない計（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）のスコアをそう思う計（「そう思う」＋「ややそう思う」）として使用

「社会の質」についての「評価」

社会のベース

社会関係資本

インクルージョン

社会の活力

指標
カテゴリー

項目

社会の
ベース

社会関係
資本

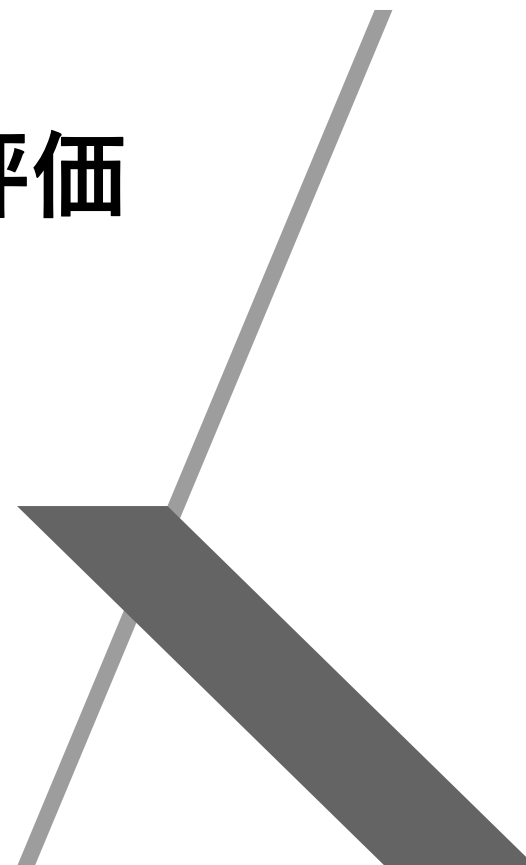
インクルー
ジョン

社会の活力

- S1 日本では、人びとの生活の安定を支える公的なしくみが充実している
- S2 日本は、子を持ち、育てやすい環境が整っている
- S3 日本は、大震災、感染症、気候変動による災害、インフラの老朽化など、さまざまなリスクに対して十分な対応が整っている
- S4 日本は、社会や経済が大きなダメージを受けても復興・復旧する力がある
- S5 自分は、家族以外に信頼できる人がある
- S6 日本は、他者への信頼感が高い社会である
- S7 日本では、人びとは日常的にお互い助け合っている
- S8 日本では、非常事態が発生した時にお互い助け合うことができる
- S9 日本では、教育や就業について機会の平等が実現されている
- S10 日本では、多様な価値観・生き方が尊重されている
- S11 日本では、自分と異なる人種・国籍・宗教・性別・年齢の人に対して寛容である
- S12 日本では、子どもの権利が守られている
※ユニセフによれば「子どもの権利条約」の一般原則とは①命を守られ成長できること、
②子どもにとって最善の利益を第一に考えること、③意見を表明し参加できること、④差別のないこと
- S13 日本では、人びとが失敗しても再チャレンジすることができる
- S14 日本社会は、一人一人の力で変えることができる
- S15 日本社会の制度は、政治・社会運動や社会貢献活動、SNSでの意思表示などによって変えることができる
- S16 日本の社会や経済には活力がある

※ピーター・ヘルマンなど有識者による「社会的質」に関する先行研究を参照しながら「社会の質」を構成する4つの要素を電通総研でオリジナルに定義しました。

1. 現在の社会の質に対する評価



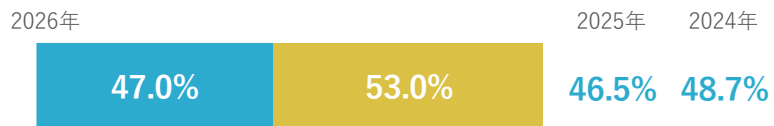
生活や社会についての「実感」

Q4：現在の世界や日本社会、ご自身の生活について伺います。
次に挙げる項目それぞれについて、あなたの考えにもっとも近いものを一つずつお選びください。【単一回答】

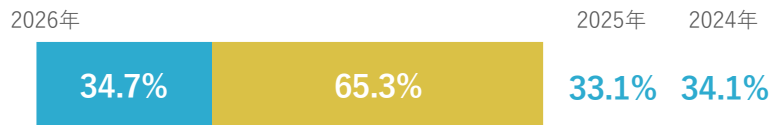
調査では「不安がある」かについてを4段階で聴取したが、本レポートでは余力・希望と方向をそろえるために、選択肢を変更し、そう思わない計（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）のスコアを、「安心」のそう思う計（「そう思う」+「ややそう思う」）として使用

余力

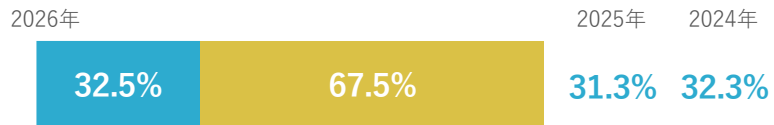
自分には心の余裕（余力）がある



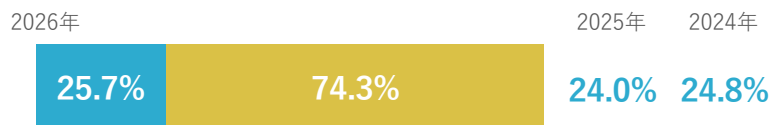
自分の家計には余裕（余力）がある



自分の住む地域社会には 人的・財政的な余裕（余力）がある

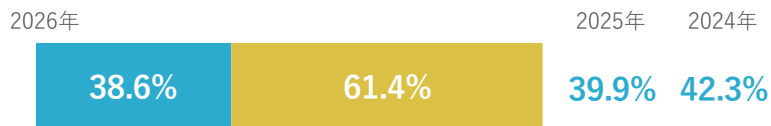


日本には人的・財政的な余裕（余力）がある

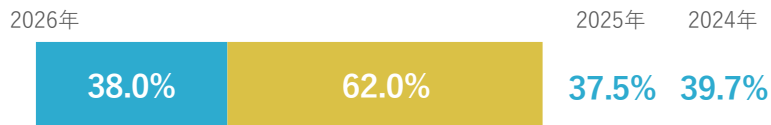


希望

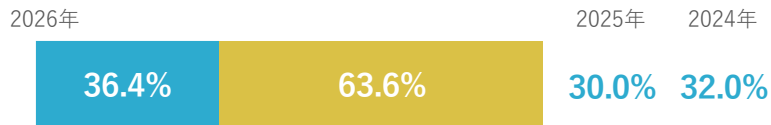
自分の生活や仕事には希望がある



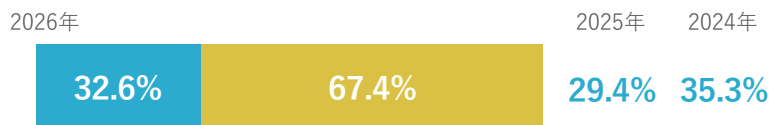
自分の住む地域社会には希望がある



日本には希望がある

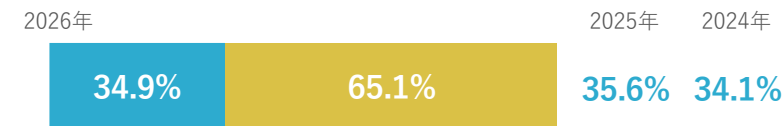


世界には希望がある

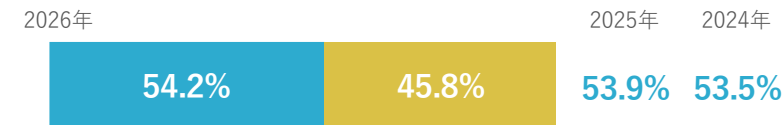


安心

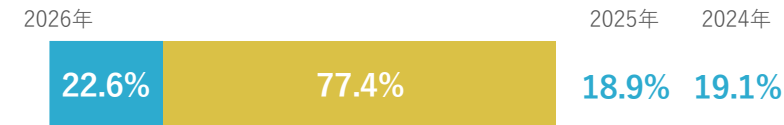
自分の生活や仕事には不安がない



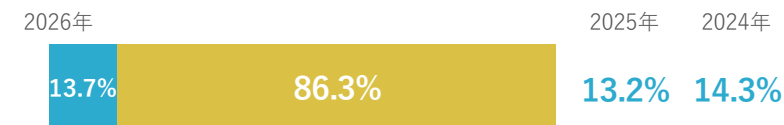
自分の住む地域社会には不安がない



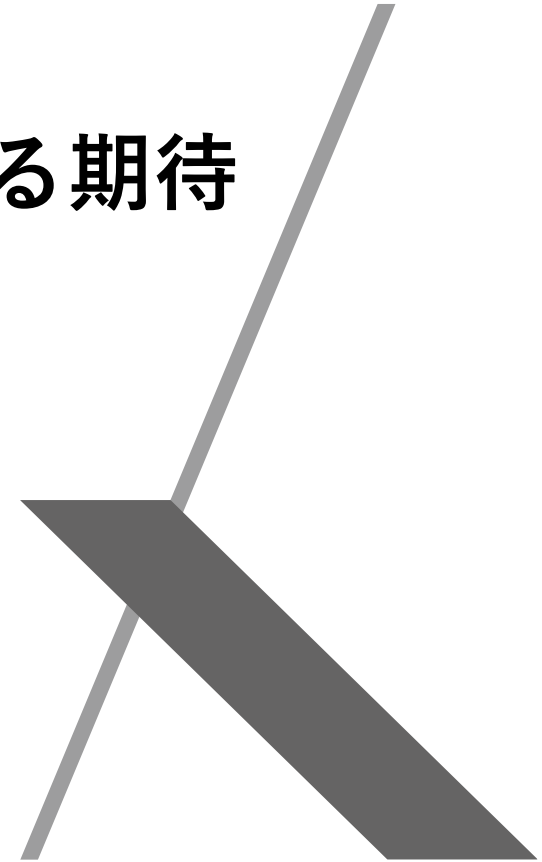
日本には不安がない



世界には不安がない



2. 目指すべき社会像から見られる期待



目指すべき社会像（1）

Q8：次に挙げる項目について、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。【単一回答】

国際協力

【A】

日本は、他国と協調して
グローバルな社会課題を
解決することを優先すべきだ

【B】

日本は、自国の力で
自国の社会課題を解決することを
優先すべきだ



行政改革

【A】

人びとの生活に密接に関わる
行政サービスについて、日本政府が
多くの権限を持ち、決定すべきだ

【B】

人びとの生活に密接に関わる
行政サービスについて、日本政府は
各自治体に多くの権限を移譲すべきだ



統治システム

【A】

日本は、政治・経済・文化などの重要な
機能が、少数の大都市に効率的に集中して
いる「一極集中型」社会を目指すべきだ

【B】

日本は、コミュニティ・経済などの機能が
集約されている地域が多数存在し、
地域ごとの文化や生活に多様性があり、
リスクも分散できる「多極型」社会を目指すべきだ



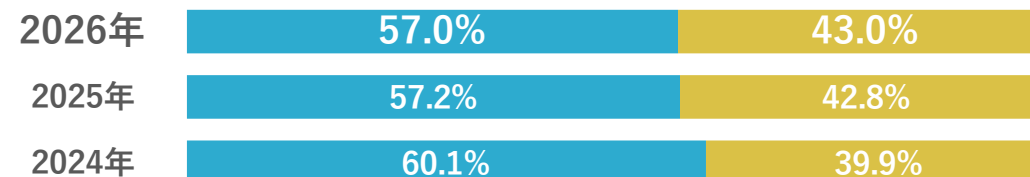
セーフティネットか税負担少か

【A】

日本は、個人の税負担は大きい
が、福祉などの行政サービスが
充実した社会を目指すべきだ

【B】

日本は、福祉などの行政サービスを
必要最小限に絞り、税負担の少ない
社会を目指すべきだ



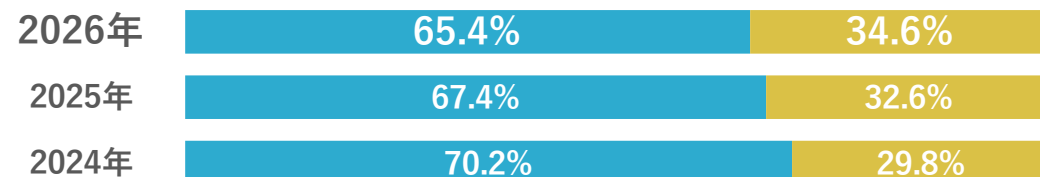
目指すべき社会像（2）

Q8：次に挙げる項目について、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。【単一回答】

他者への寛容

【A】
個人の自律性を重んじて、
他者の行動に対して
寛容な態度をとるべきだ

【B】
社会全体の視点を重んじて、
他者の行動に対して
厳しい態度をとるべきだ



人口減少社会

【A】
日本は、
人口を維持するために、
出生数を増やすべきだ

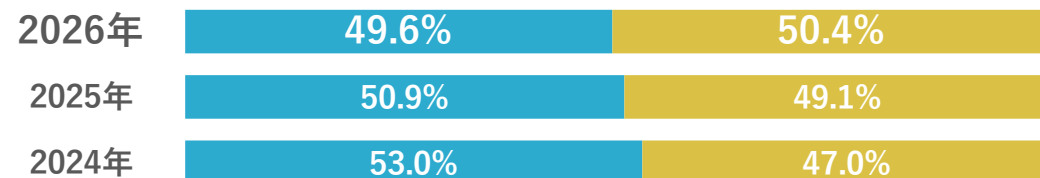
【B】
日本は、
人口が減ることを前提に、
社会のあり方を考えるべきだ



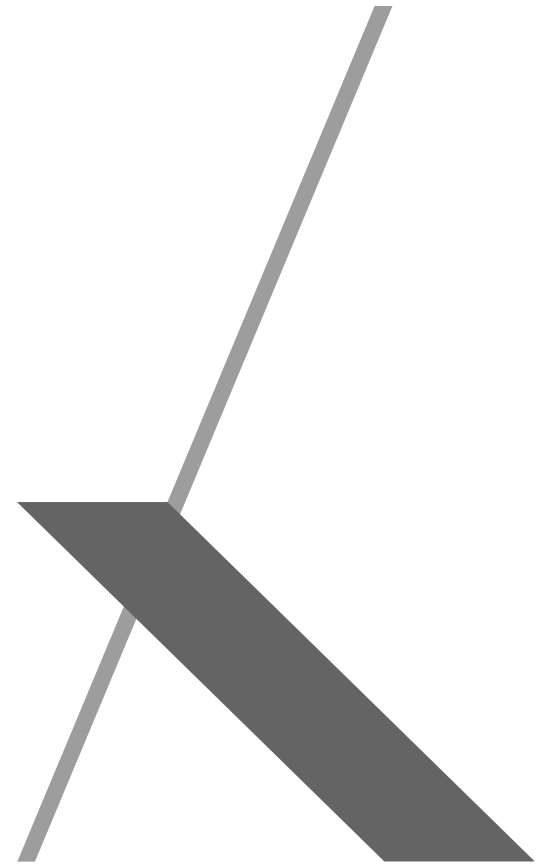
平等か成果か

【A】
日本は、働いた成果とあまり関係なく、
貧富の差が少ない
平等な社会を目指すべきだ

【B】
日本は、自由に競争し、
成果に応じて分配される
社会を目指すべきだ



3. 評価と期待

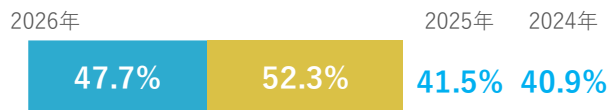


「社会の質」についての「評価」

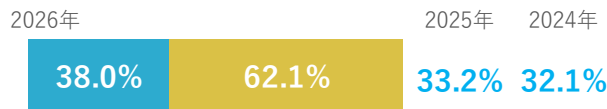
Q5：現在の日本社会やご自身の生活について伺います。
次に挙げる項目それぞれについて、あなたの考えにもっとも近いものを一つずつお選びください。【単一回答】

社会のベース

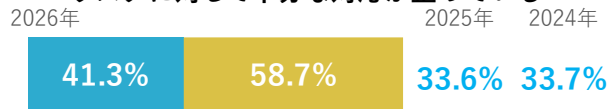
日本では、人びとの生活の安定を支える公的なしくみが充実している



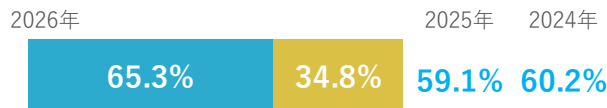
日本は、子をもち、育てやすい環境が整っている



日本は、大震災、感染症、気候変動による災害、インフラの老朽化など、さまざまなリスクに対して十分な対応が整っている

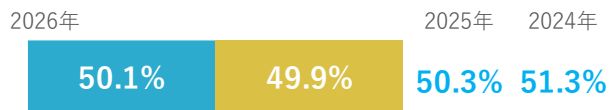


日本は、社会や経済が大きなダメージを受けても復興・復旧する力がある

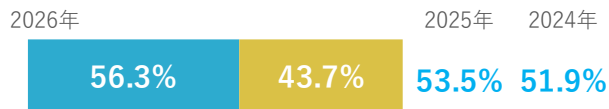


社会関係資本

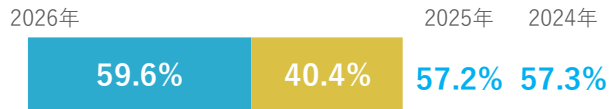
自分は、家族以外に信頼できる人がある



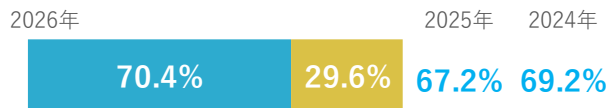
日本は、他者への信頼感が高い社会である



日本では、人びとは日常的にお互い助け合っている

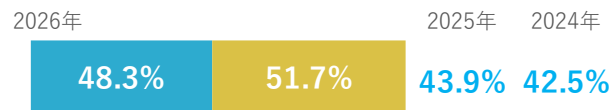


日本では、非常事態が発生した時にお互い助け合うことができる

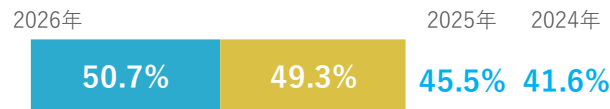


インクルージョン

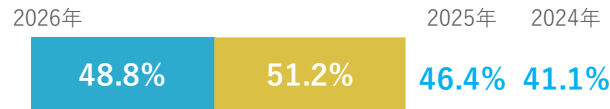
日本では、教育や就業について機会の平等が実現されている



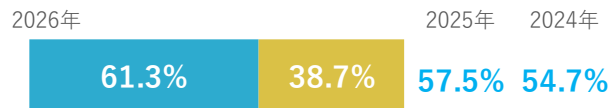
日本では、多様な価値観・生き方が尊重されている



日本では、自分と異なる人種・国籍・宗教・性別・年齢の人に対して寛容である

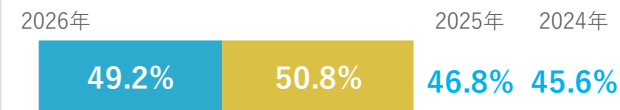


日本では、子どもの権利※が守られている

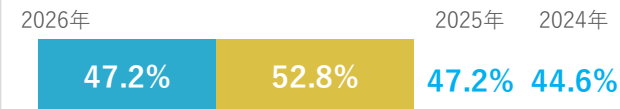


社会の活力

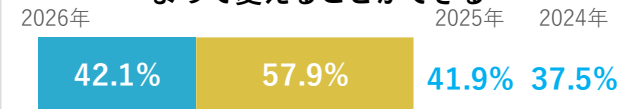
日本では、人びとが失敗しても再チャレンジすることができる



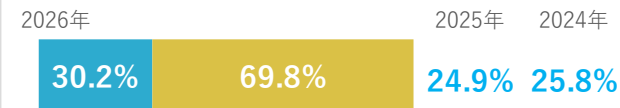
日本社会は、一人一人の力で変えることができる



日本社会の制度は、政治・社会運動や社会貢献活動、SNSでの意思表示などによって変えることができる



日本の社会や経済には活力がある



※ユニセフによれば「子どもの権利条約」の一般原則とは①命を守られ成長できること、
②子どもにとって最善の利益を第一に考えること、③意見を表明し参加できること、④差別のないこと

目指すべき社会像から見られる「期待」

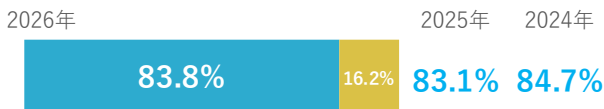
Q6：目指すべき日本社会やご自身の生活について伺います。
次に挙げる項目それぞれについて、あなたの考えにもっとも近いものを一つずつお選びください。【単一回答】

社会のベース

人びとの生活の安定を支える
公的なしくみを充実させるべきだ



子をもち、
育てやすい環境を整えるべきだ



大震災、感染症、気候変動による災害、
インフラの老朽化など、さまざまなリスク
に対して十分な対応を整えるべきだ

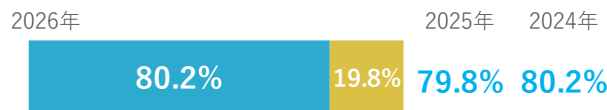


社会や経済が大きなダメージを受けても
復興・復旧する力を備えるべきだ

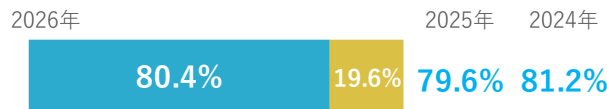


社会関係資本

家族以外に信頼できる人がいてほしい



他者への信頼感が高い社会であるべきだ



人びとは日常的にお互い助け合うべきだ



非常事態が発生した時に
お互い助け合う社会であるべきだ

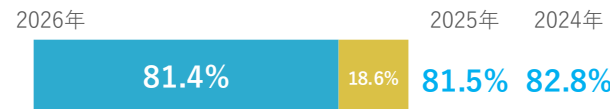


インクルージョン

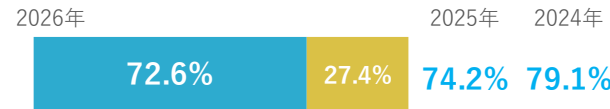
教育や就業について
機会の平等が実現されるべきだ



多様な価値観・生き方が
尊重されるべきだ



自分と異なる人種・国籍・宗教・性別・
年齢の人に対して寛容であるべきだ



子どもの権利※が
守られる社会であるべきだ



社会の活力

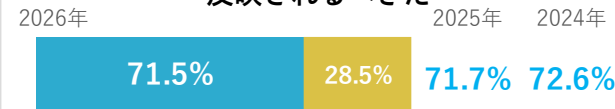
人びとが失敗しても再チャレンジする
ことができる社会であるべきだ



一人一人の力で変えることができる
社会であるべきだ



日本社会の制度には、政治・社会運動や
社会貢献活動、SNSでの意思表示などが
反映されるべきだ

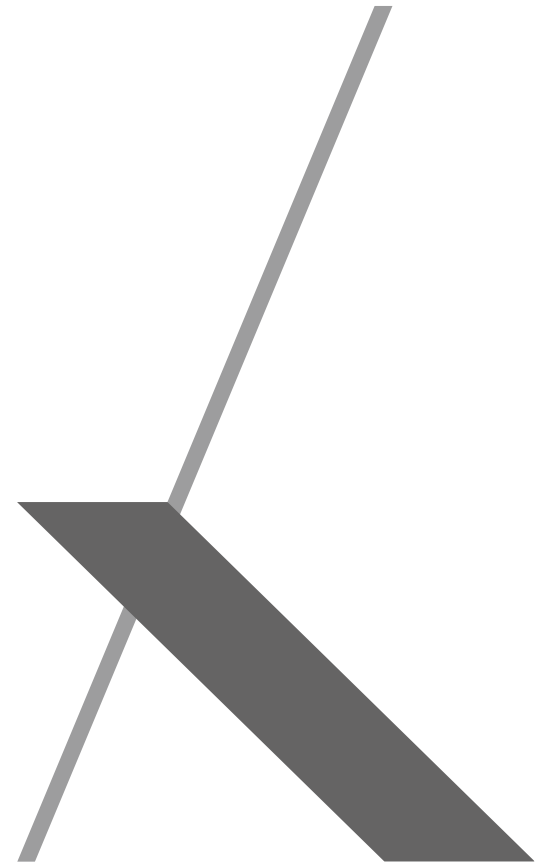


日本の社会や経済には活力が
あってほしい



※ユニセフによれば「子どもの権利条約」の一般原則とは①命を守られ成長できること、
②子どもにとって最善の利益を第一に考えること、③意見を表明し参加できること、④差別のないこと

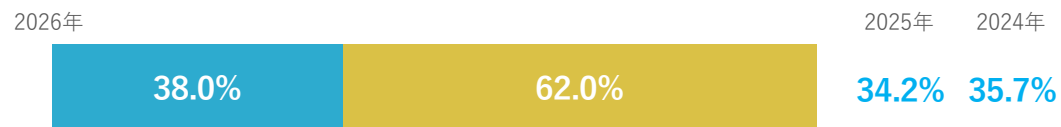
4. DX有効感



DX有効感（１）

Q7：現在の技術革新やそれに伴う社会の変化について伺います。
次に挙げる項目それぞれについて、あなたの考えにもっとも近いものを一つずつお選びください。【単一回答】

デジタル化によって、教育機会が拡大し、不平等が解消されている



デジタル化によって、自由に発言ができるようになっている



デジタル化によって、人間性が損なわれている



デジタル化によって、自由な生き方を手に入れられるようになっている



デジタル化によって、人びとの暮らしは豊かになっている



デジタル化によって、働き方の選択肢が広がっている



デジタル化によって、社会課題の解決が進んでいる



デジタル化によって、必要な医療が、必要な人に届くようになっている



DX有効感（2）

Q7：現在の技術革新やそれに伴う社会の変化について伺います。
次に挙げる項目それぞれについて、あなたの考えにもっとも近いものを一つずつお選びください。【単一回答】

デジタル化によって、大雨や台風、地震など
自然災害に関する情報を受け取りやすくなっている



デジタル化によって、身近な社会課題を解決しやすくなっている



デジタル化によって、人との出会いや交流の機会が増えている



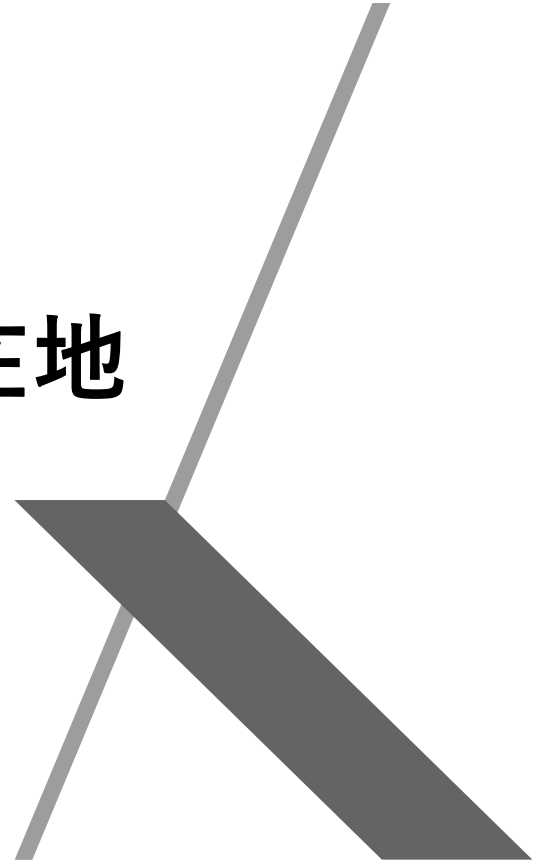
デジタル化によって、
一人一人が社会課題の解決に関わる機会が増えている



デジタル化によって、自分の価値観が変わってきている



II. 社会に対する人びとの意識の現在地



よりよい社会・個人のよりよい人生の実現のためには、個人の志向性だけでなく、社会集団や社会制度など個人を支える基盤も併せて捕捉することが必須である、という仮説に基づき構造化

1. 個人視点

個人の 能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために
前向きで自律的であるか

- 心と身体健康度
- 幸福度
- 日本らしい文化としての魅力度
- 地域への誇り／魅力／愛着／継続居住意向
- 現在の自分の状況
- AIやロボットに仕事が奪われる不安

2. 家族・コミュニティ視点

社会集団の 協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために
協力し合っているか

- 暮らしや人間関係に関する意見
- 社会関係と人間関係
- 人間関係についての価値観
- ニューロダイバーシティの認知
- 特性の認知

3. 社会視点

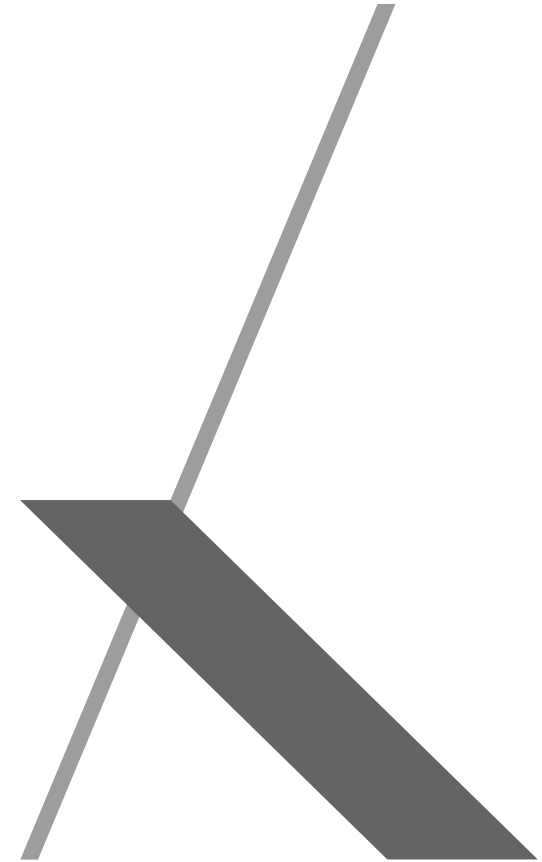
社会制度の 信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、
社会制度・システムは機能しているか

- テクノロジーや個人データについての考え方
- 地域の活性化についての考え方
- 先端医療・テクノロジーと健康
- 社会や暮らし方に関する意見
- 社会課題への関与度
- 日本の社会保障
- ロボットやAIの受容度

1. 個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために
前向きで自律的であるか



①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

心と身体の健康度

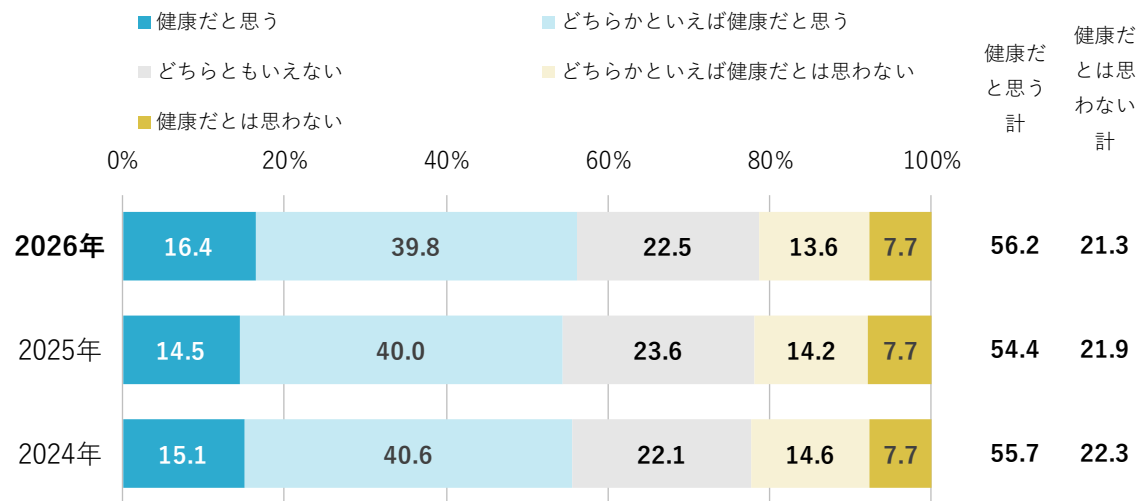
Q12：ご自分のことを健康だと思われますか。

(1) 身体の健康

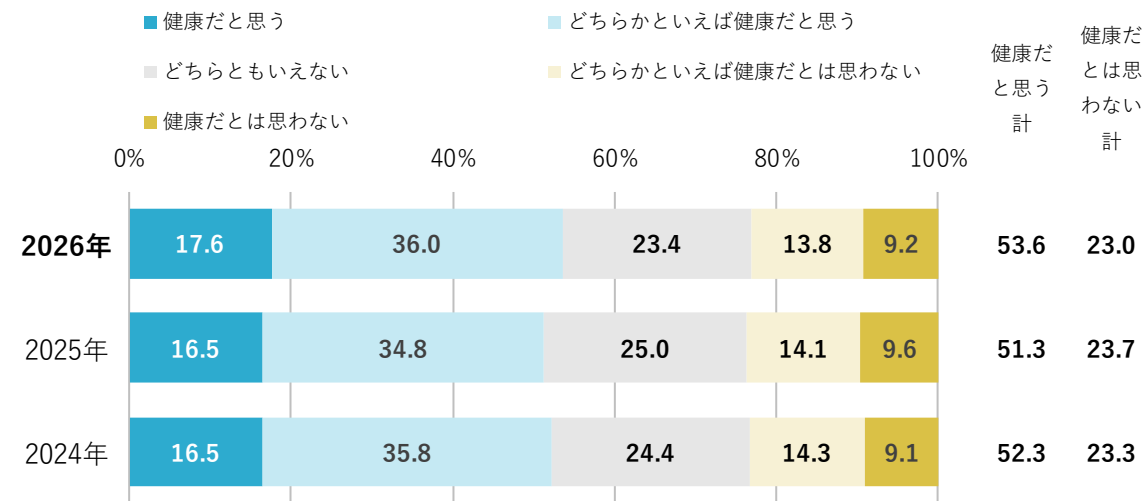
(2) 心の健康

それぞれについて、あてはまるものをお選びください。【単一回答】

【身体の健康】



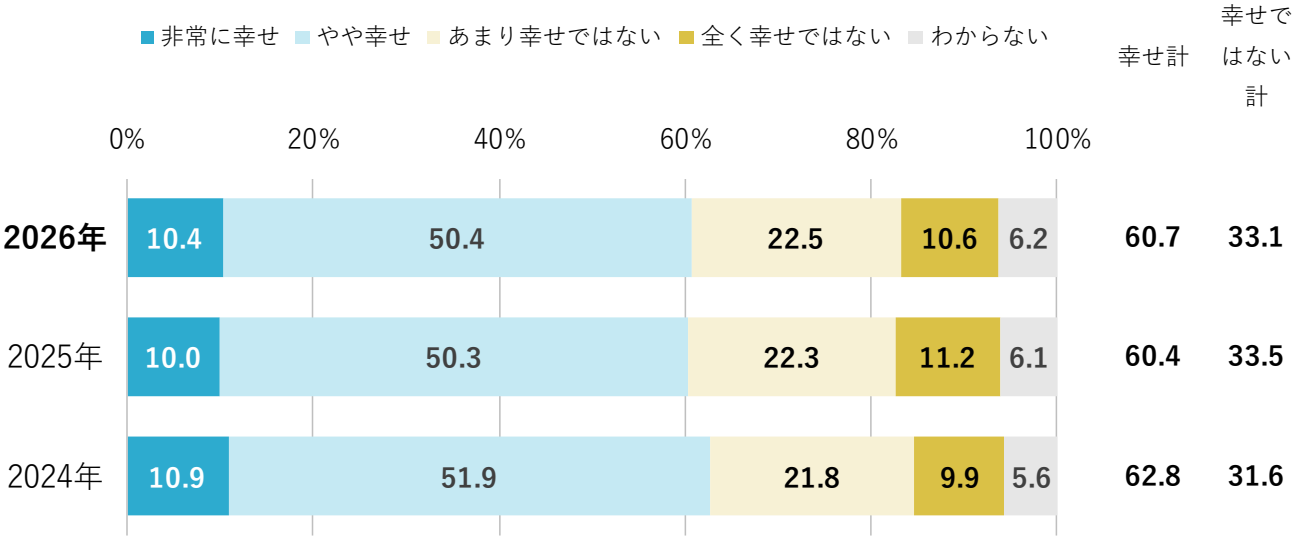
【心の健康】



①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

Q3：全体的にあって、現在、あなたは幸せだと感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。【単一回答】

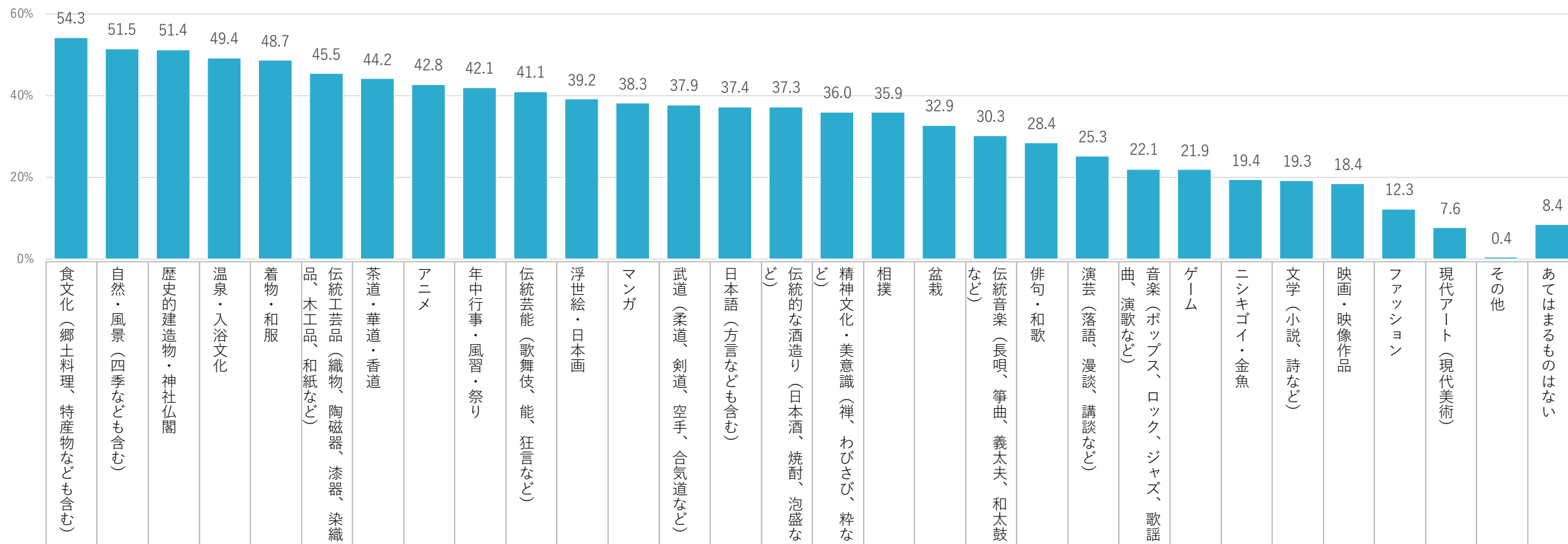


①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

日本らしい文化としての魅力度

Q1：日本らしい文化として、魅力的と感じるものをすべてお選びください。【複数回答】



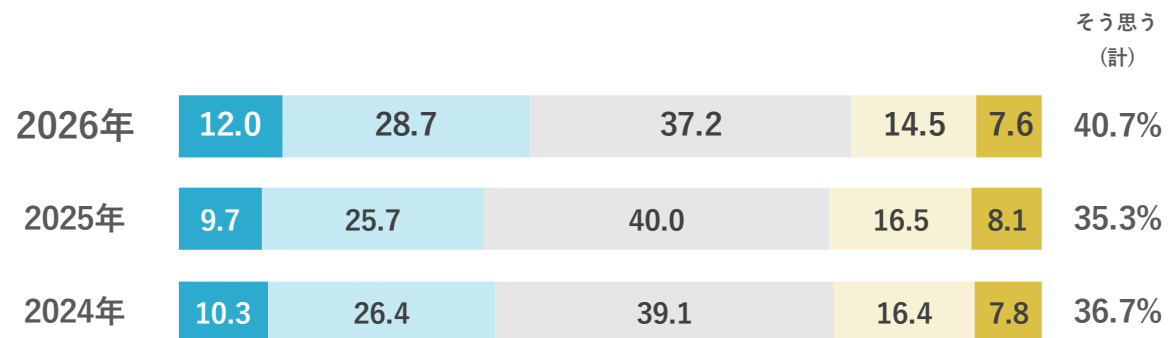
①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

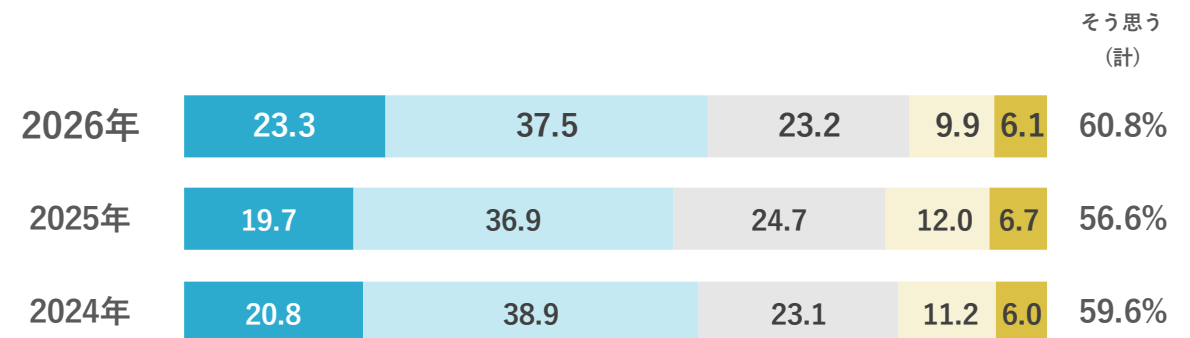
地域への誇り／魅力／愛着／継続居住意向

Q14：あなたのお住まいの都道府県について、それぞれあてはまるものをお選びください。【単一回答】

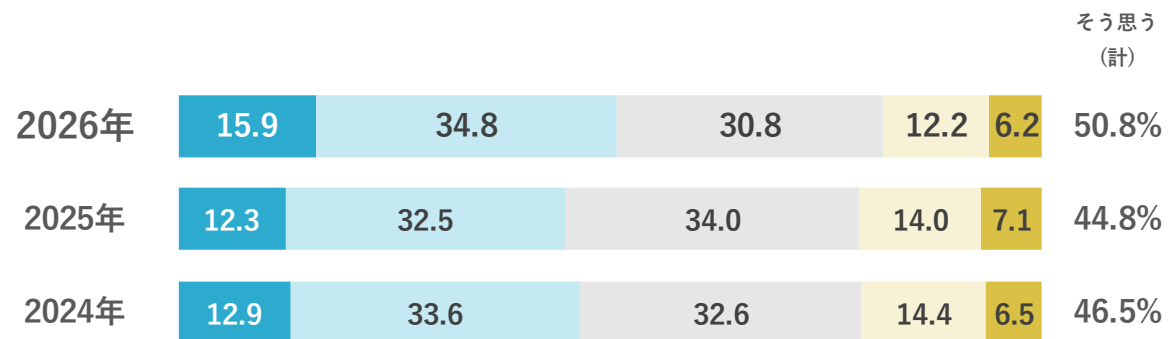
誇りを感じる



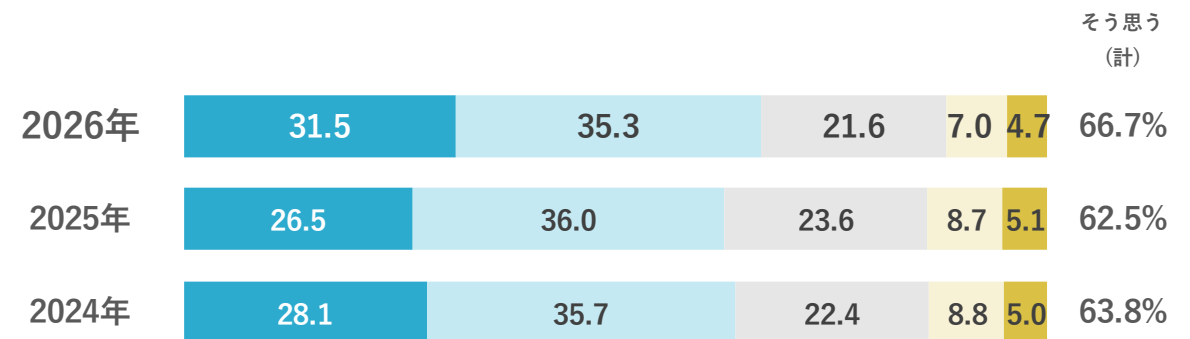
愛着を感じる



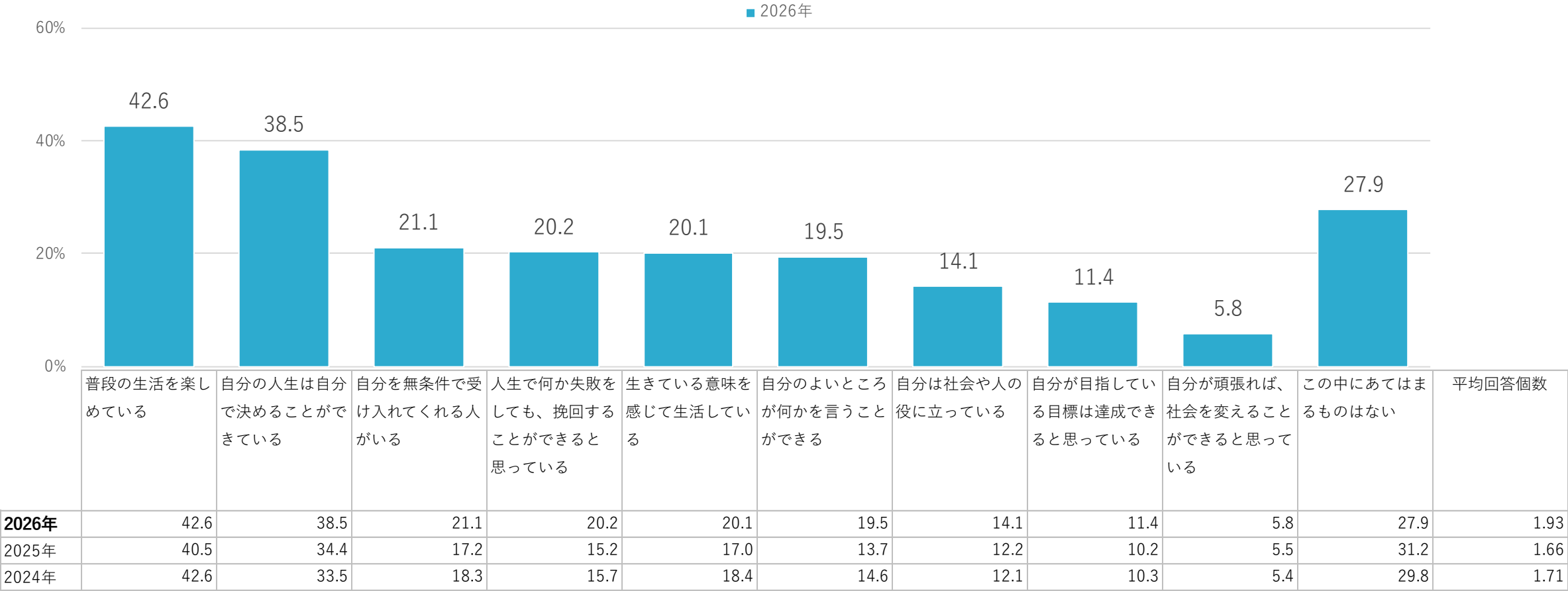
魅力を感じる



住み続けたい



Q15：あなたは、現在のご自身の状況についてどのようにお感じになりますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。【複数回答】

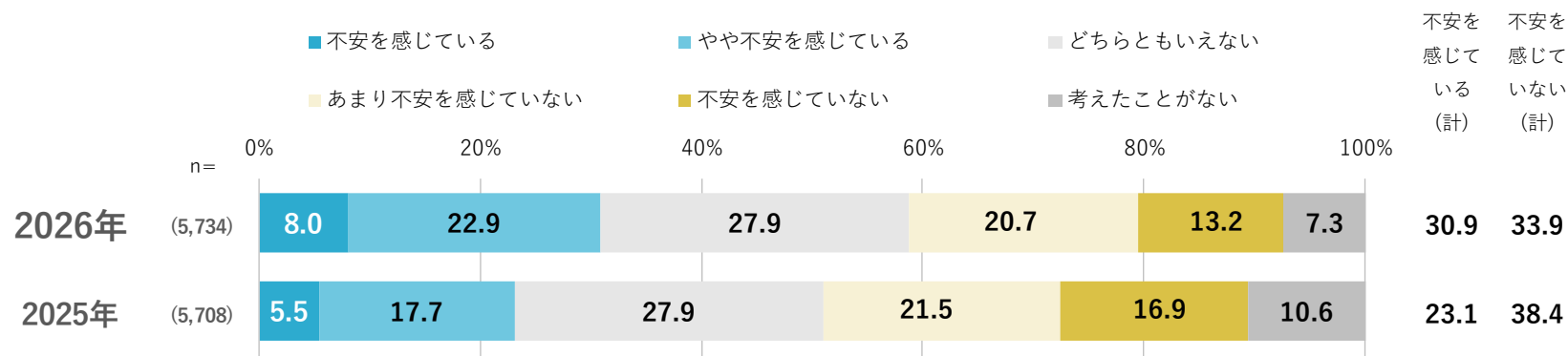


①個人の能動性・自律性

人びとは、よりよい人生のために前向きで自律的であるか

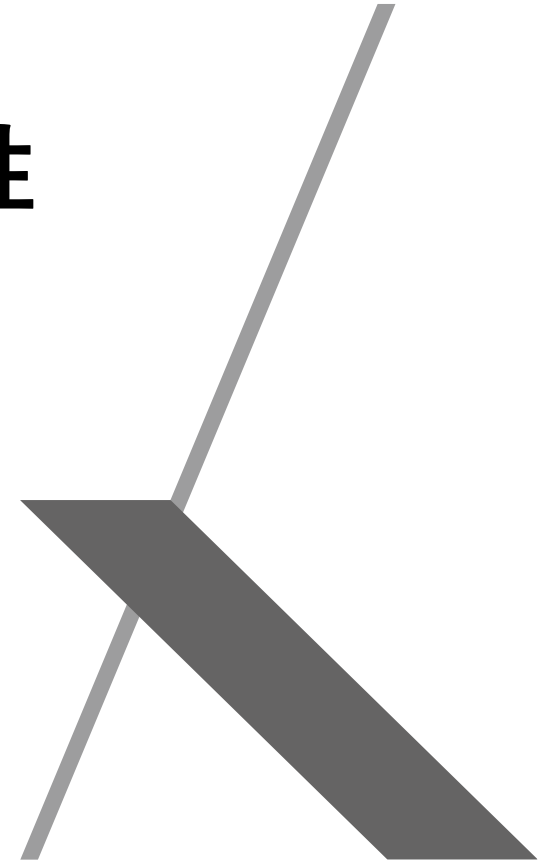
AIやロボットに仕事が奪われる不安

Q20： あなたは、AI（人工知能）やロボットなどのデジタル化が進むことによって、自分の仕事が奪われる不安を感じていますか。
あてはまるものをお選びください。【単一回答】



2. 社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために
協力し合っているか



②社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために協力し合っているか

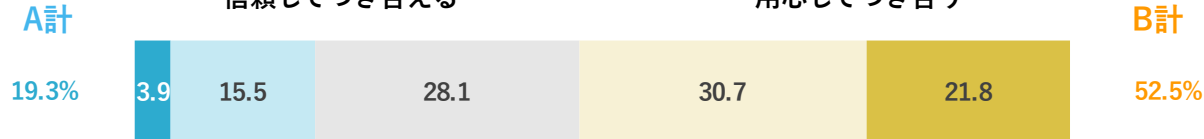
暮らしや人間関係に関する意見（1）

Q16：次に挙げる事柄について、あなたの考えや気持ちに近いものをお選びください。【単一回答】

初対面の人を信用するか

【A】
初対面の人でも、
信頼してつき合える

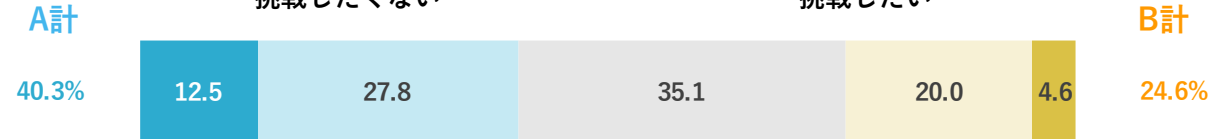
【B】
初対面の方は、
用心してつき合う



リスクをとって挑戦するか

【A】
失敗する可能性があるなら、
挑戦したくない

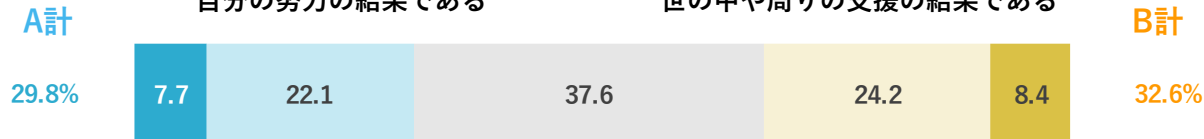
【B】
失敗する可能性があっても、
挑戦したい



自分の努力か周囲の支援か

【A】
今の自分があるのは、
自分の努力の結果である

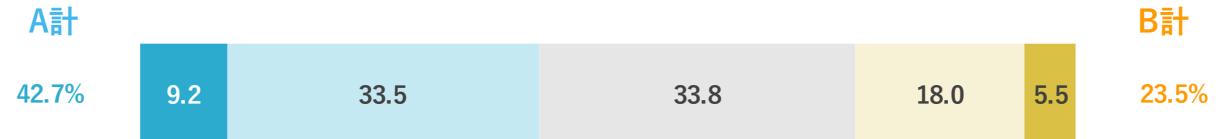
【B】
今の自分があるのは、
世の中や周りの支援の結果である



調和か独自性か

【A】
周りや調和することを優先したい

【B】
独自の発想や自分らしさを優先したい



自分の納得か周囲からの承認か

【A】
人から認められなくても、
自分の納得感が重要である

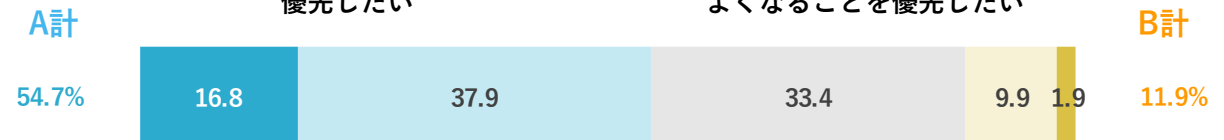
【B】
自分の納得感よりも、周りの人びとから
認められることが重要である



自分の暮らしか世の中みんなの暮らしか

【A】
自分の暮らしがよくなることを
優先したい

【B】
世の中の中のみんなの暮らしが
よくなることを優先したい



②社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために協力し合っているか

暮らしや人間関係に関する意見（2）

Q16：次に挙げる事柄について、あなたの考えや気持ちに近いものをお選びください。【単一回答】

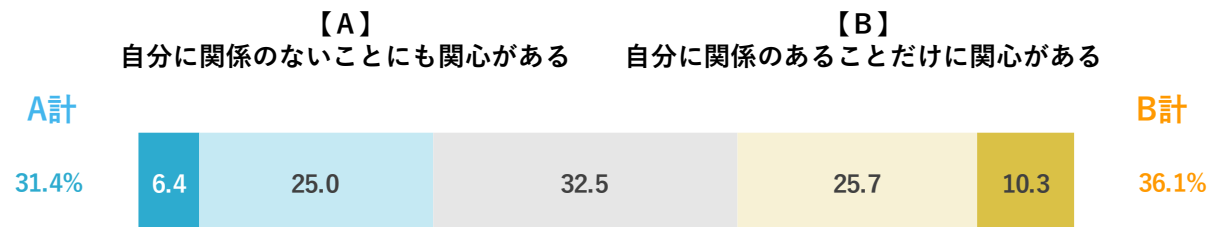
過程か結果か



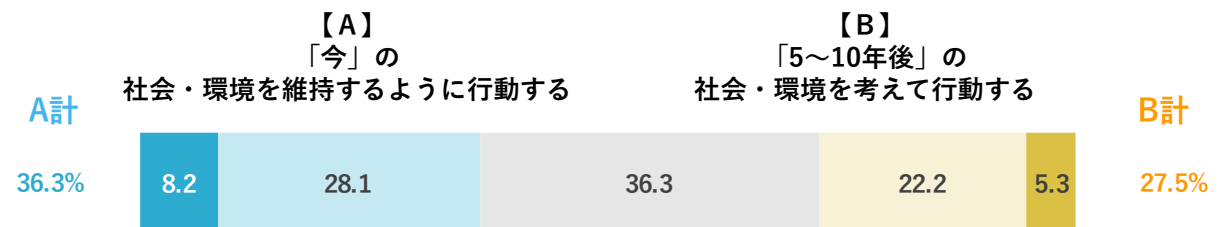
今の自分と5～10年後の自分



自分の関心の向け方



今の社会・環境と5～10年後の社会・環境



多数意見か少数意見か

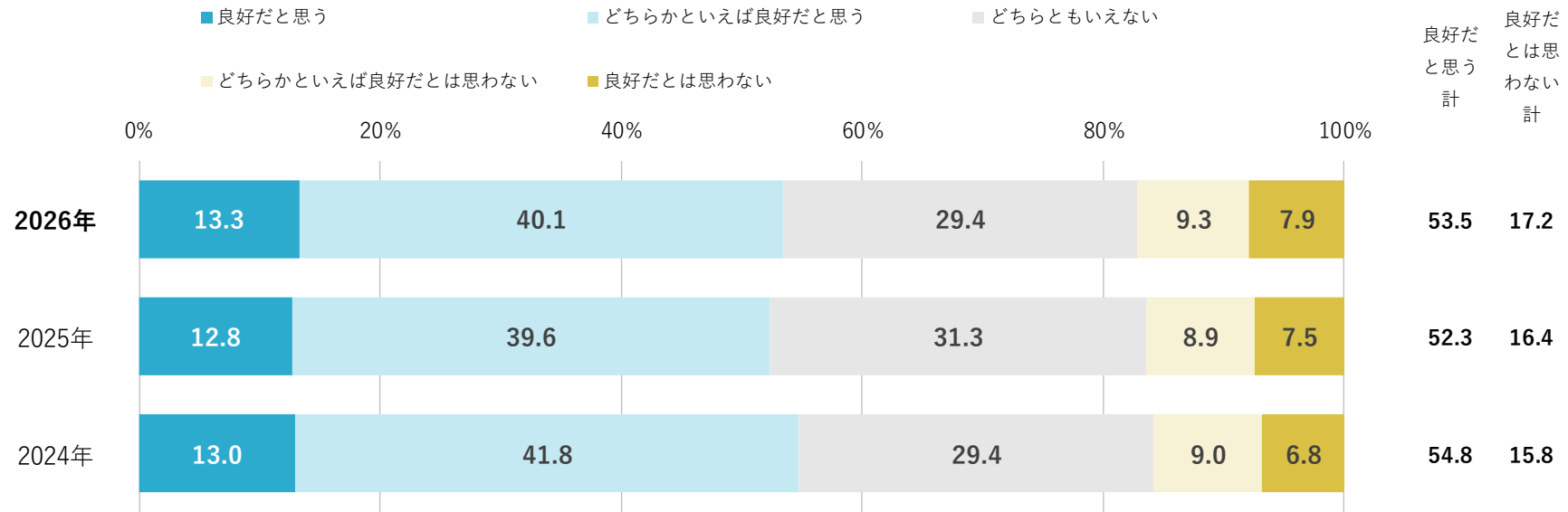


②社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために協力し合っているか

社会関係と人間関係

Q13：ご自分の人間関係・社会関係は良好だと思われますか。あてはまるものをお選びください。【単一回答】



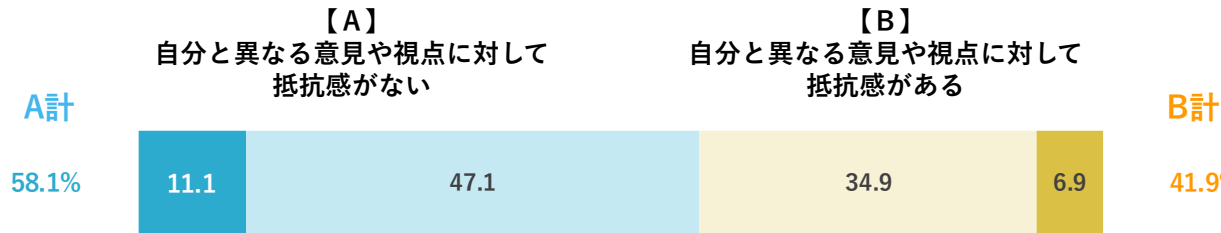
②社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために協力し合っているか

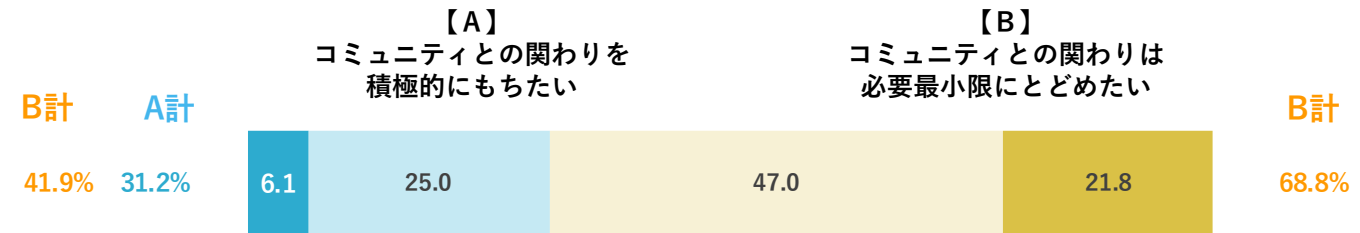
人間関係についての価値観（1）

Q18：対人関係や人とのつき合いについて、あなたの考えや気持ちに近いものをお選びください。【単一回答】

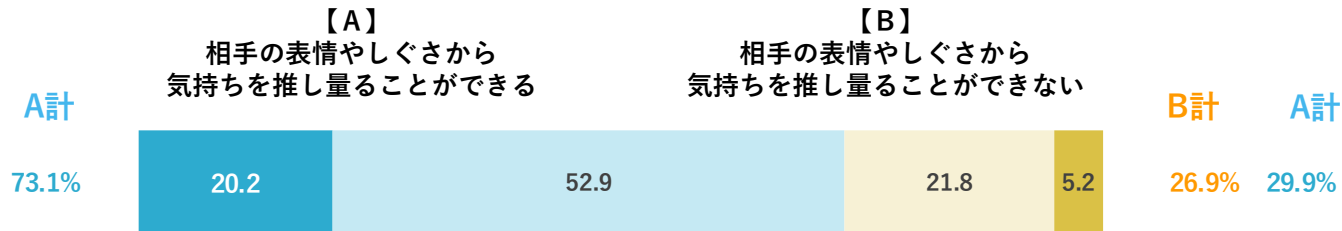
異なる意見に対する抵抗感があるか



コミュニティと関わりをもちたいか



表情やしぐさから気持ちを推し量れるか



友人関係は広く浅くか、狭く深くか



キャラクターを使い分けるか



友人は多い方がよいか



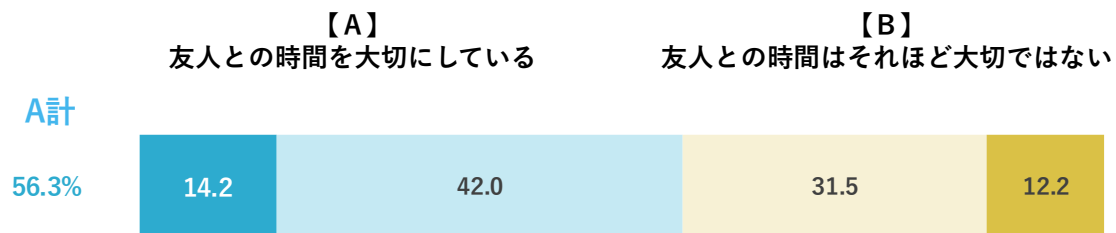
②社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために協力し合っているか

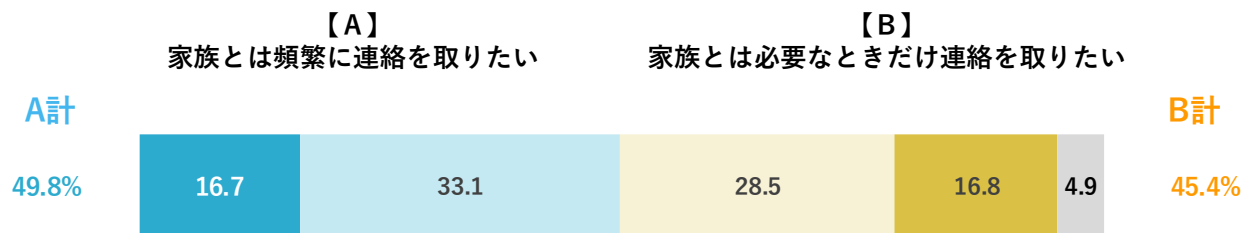
人間関係についての価値観（2）

Q18：対人関係や人とのつき合いについて、あなたの考えや気持ちに近いものをお選びください。【単一回答】

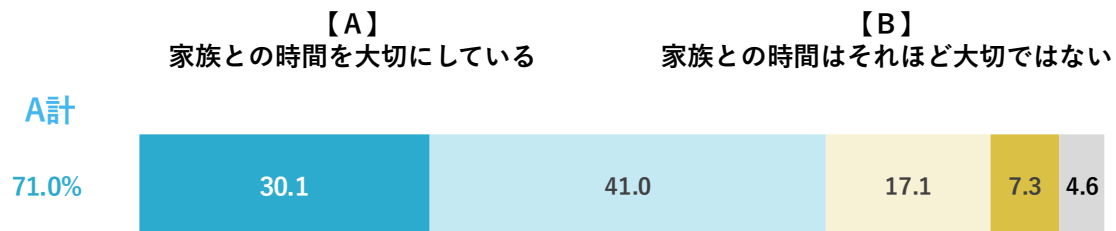
友人との時間を大切にするか



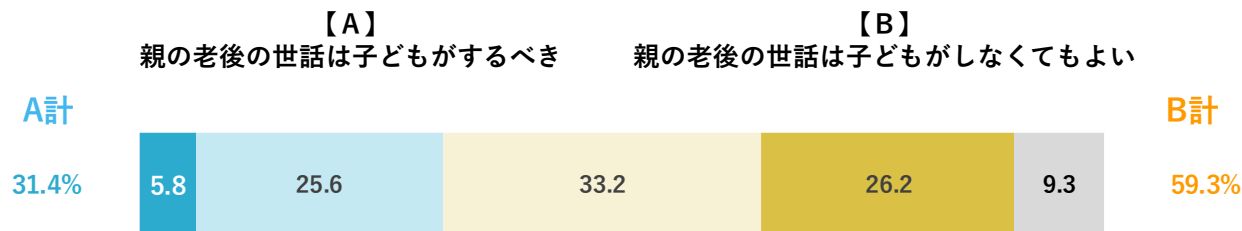
家族と頻繁に連絡を取りたいか



家族との時間を大切にするか



親の老後の世話は子どもがすべきか



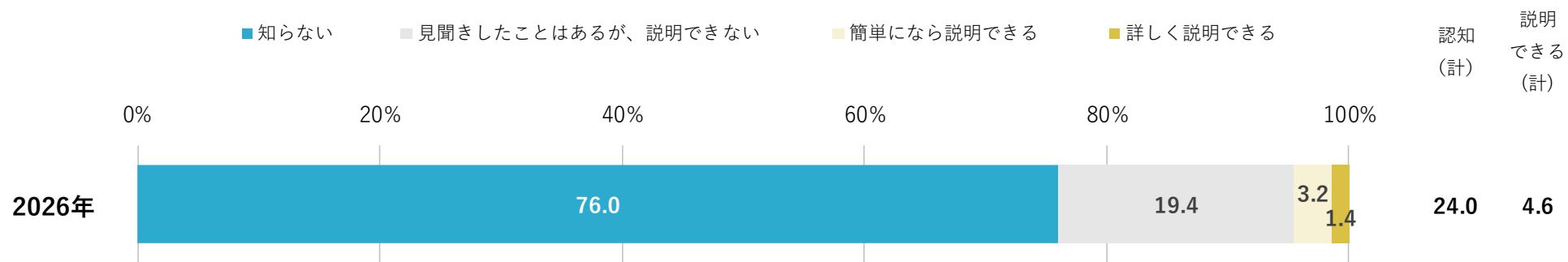
②社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために協力し合っているか

ニューロダイバーシティの認知

Q9：あなたは、「ニューロダイバーシティ※」についてどの程度ご存知ですか。あてはまるものをお選びください。【単一回答】

※「脳や神経、それに由来する個人レベルでのさまざまな特性の違いを多様性と捉えて相互に尊重し、それらの違いを社会の中で生かしていこう」という考え方



②社会集団の協調性・互助性

人びとは、よりよい人生のために協力し合っているか

特性の認知

Q10：次に示すような特徴をもつ人を、あなたはこれまでにどの程度見聞きしたことがありますか。あてはまるものをお選びください。【単一回答】

■この特徴をもつ人が、知り合いにいる ■この特徴をもつ人を見かけたことがある ■この特徴をもつ人がいることを知っている ■この特徴をもつ人がいることを、今回初めて知った

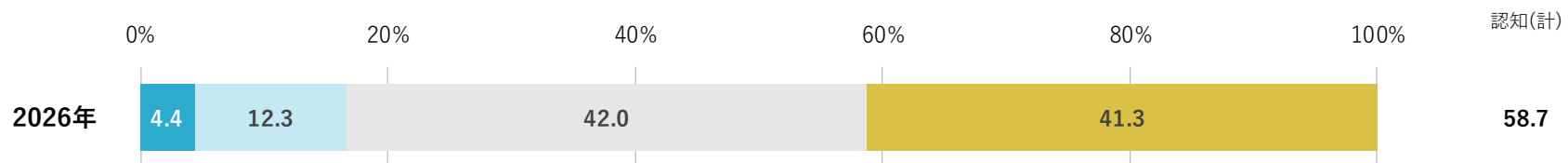
相手の表情や態度などよりも、文字や図形、ものへの関心が強い。見通しの立たないときは不安が強いが、見通しが立つときはきっちりしている。
大勢の人がいるところや気温の変化などの感覚刺激への敏感さで苦労しているが、それが芸術的な才能につながることもある



次々と周囲のものに関心をもち、周囲のペースよりもエネルギッシュにさまざまなことに取り組むことが多い

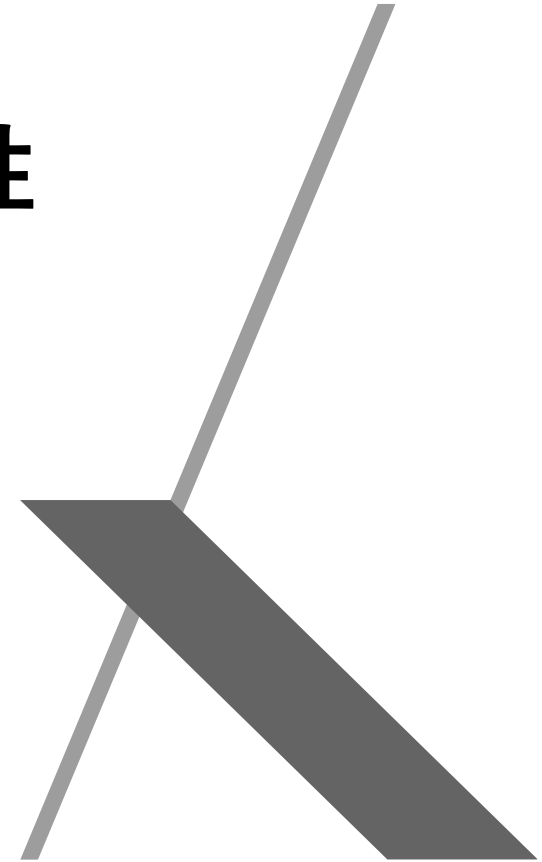


日常生活で「話す」「理解する」ことはほとんど問題ないが、「読む」「書く」「計算する」ことが努力しているのに極端に苦手



3. 社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、
社会制度・システムは機能しているか



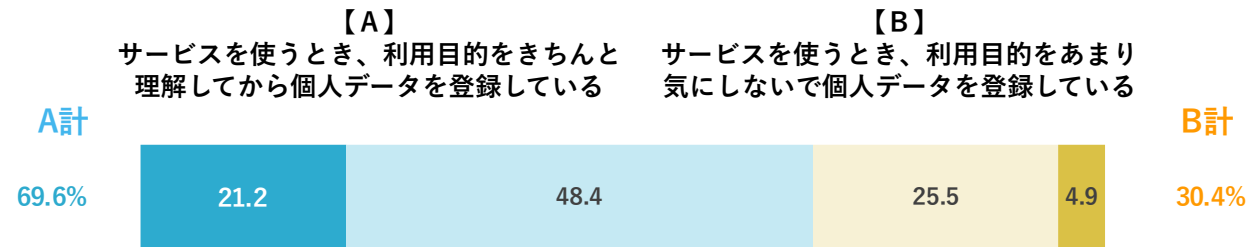
③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

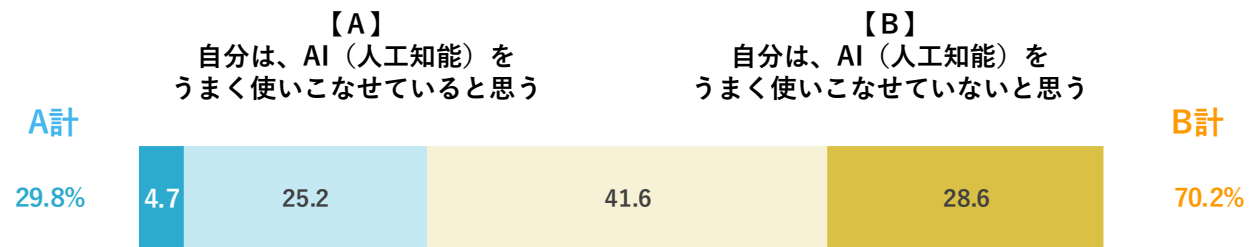
テクノロジーや個人データについての考え方

Q8：次に挙げる項目について、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。【単一回答】

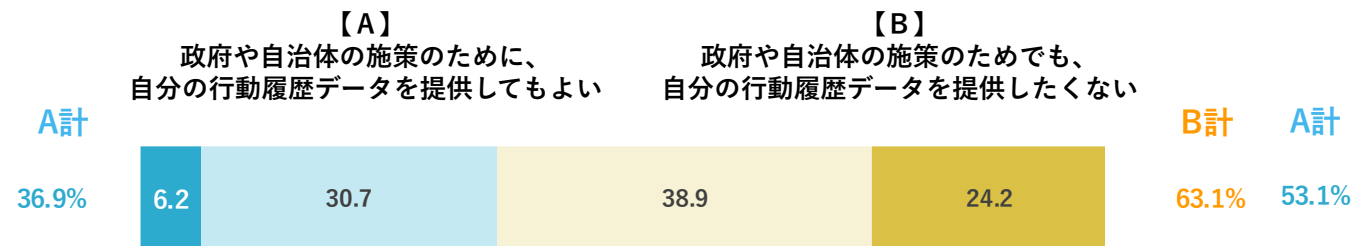
利用目的を理解するか、気にしないか



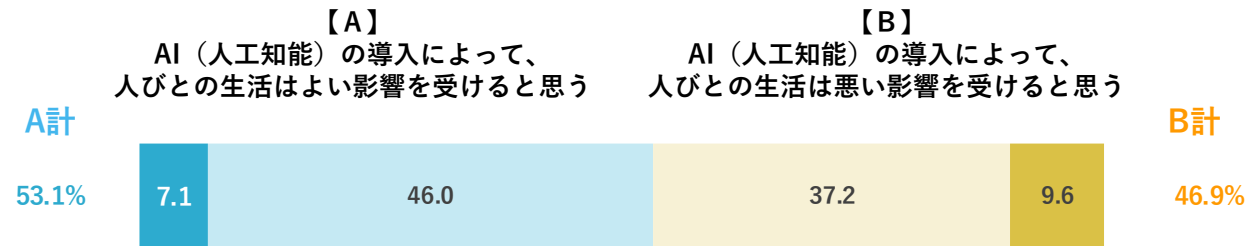
AIを使いこなせているか



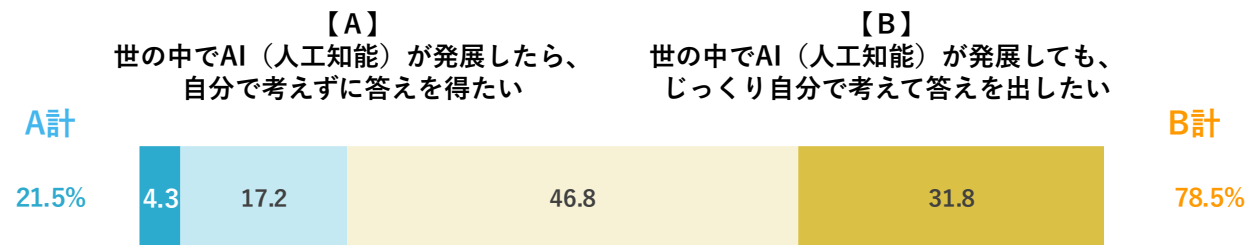
自分の行動履歴データを提供してもよいか



AIによる生活への影響



AIで答えを得るか自分で考えるか



③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

地域の活性化についての考え方

Q8：次に挙げる項目について、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。【単一回答】

地域の活性化は自治体が進めるか、地域住民と協力すべきか



地域外の資源を取り入れるか、地域内の資源を生かすか



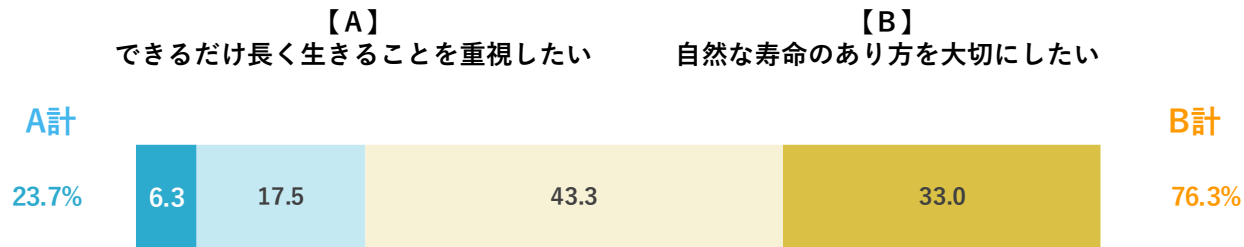
③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

先端医療・テクノロジーと健康

Q21：近年では、従来のように生活習慣を整えることに加えて、再生医療や遺伝子レベルの治療などの先端医療・テクノロジーにより、健康の保ち方や老いとの向き合い方の選択肢が広がってきています。そのことについて、あなたの考えにもっとも近いものをお選びください。
【単一回答】

できるだけ長く生きるか、自然な寿命を大切にするか



老化の対策をするか、自然なあり方を大切にするか



先端医療か、今ある医療か



③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

社会や暮らし方に関する意見（1）

Q17：次に挙げる事柄について、あなたの考えや気持ちに近いものをお選びください。【単一回答】

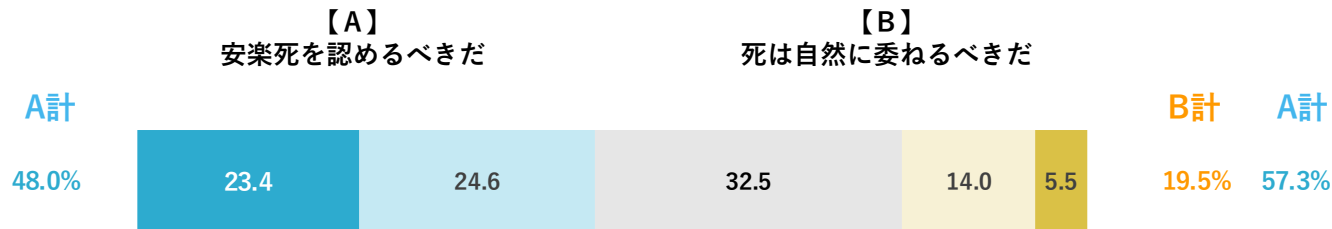
相互依存か自己責任か



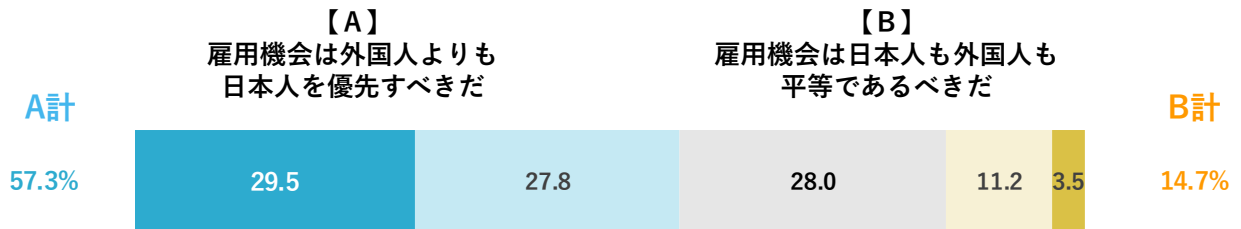
環境負荷か価格か



安楽死の是非



外国人との雇用機会



能力による貧富の差の是非



経済力・政治力か文化・心の豊かさか



③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

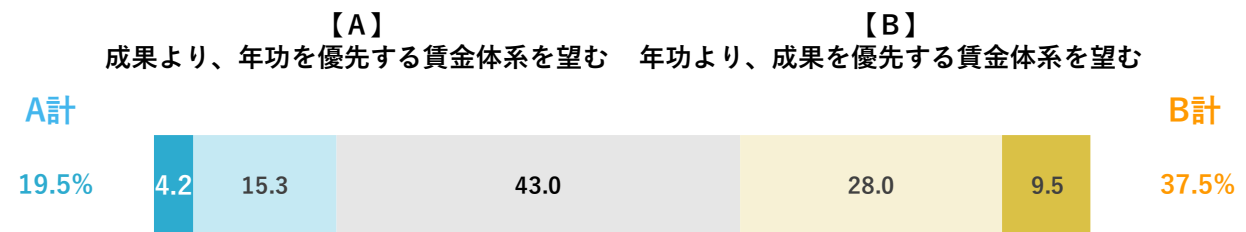
社会や暮らし方に関する意見（2）

Q17：次に挙げる事柄について、あなたの考えや気持ちに近いものをお選びください。【単一回答】

自国の利益か世界との調和か



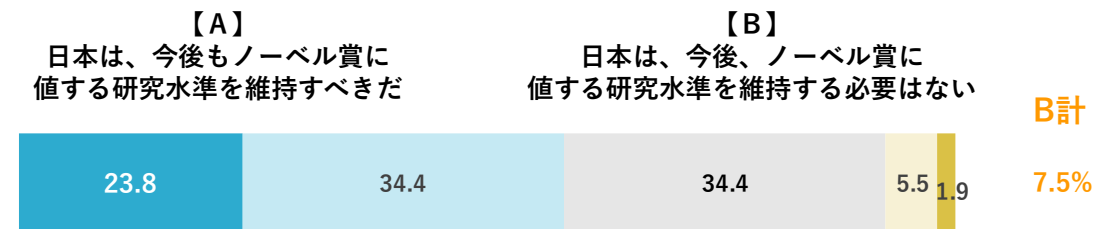
年功か成果か



雇用の流動性



ノーベル賞に値する研究水準を維持すべきか

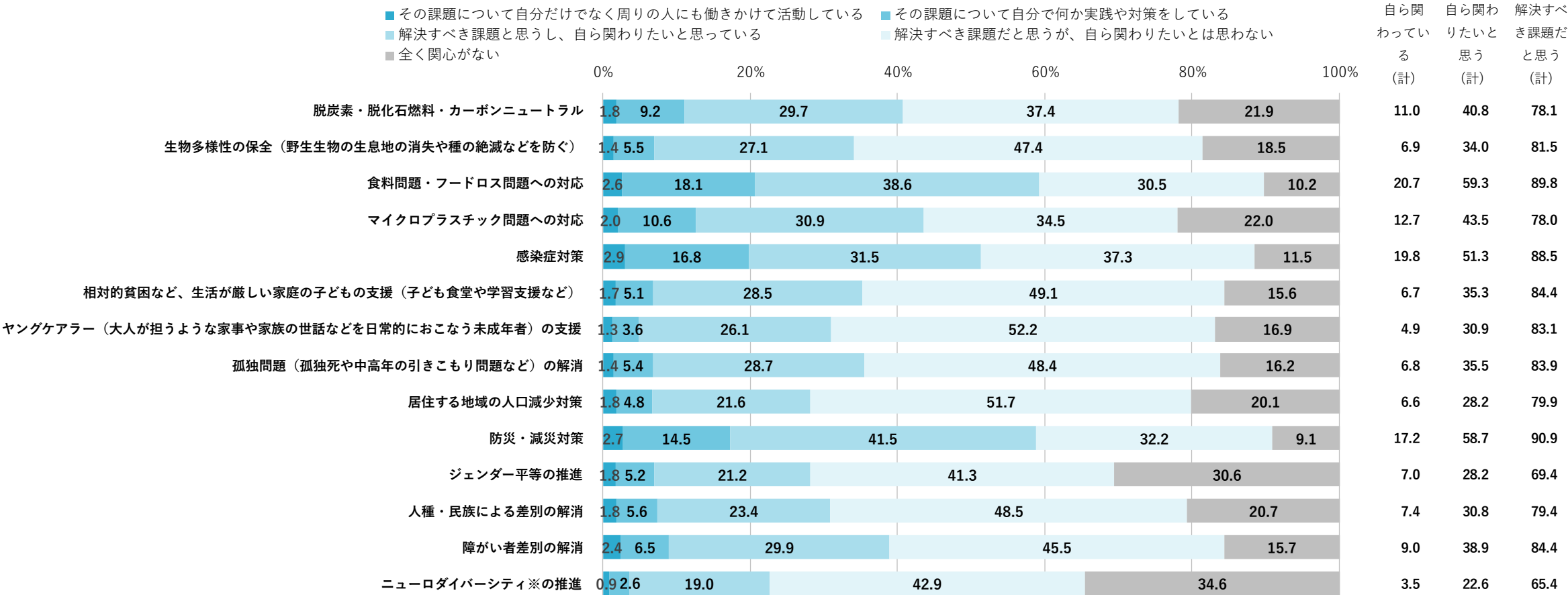


③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

社会課題への関与度

Q11：下記の事柄について、あなたの考えや行動に近いものをお選びください。【単一回答】



※「脳や神経、それに由来する個人レベルでのさまざまな特性の違いを多様性と捉えて相互に尊重し、それらの違いを社会の中で生かしていこう」という考え方

自ら関わっている(計)：「その課題について自分だけでなく周りの人にも働きかけて活動している」＋「その課題について自分で何か実践や対策をしている」の合計

自ら関わりたいと思う(計)：「自ら関わっている(計)」＋「解決すべき課題と思うし、自ら関わりたいと思っている」の合計

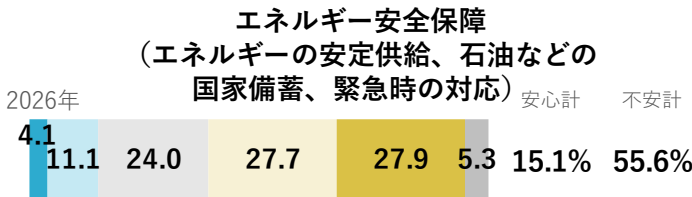
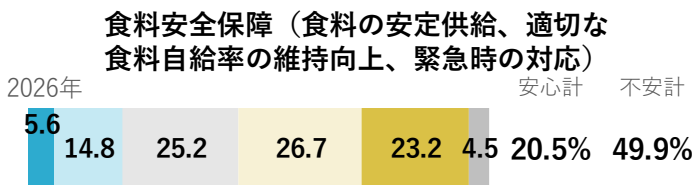
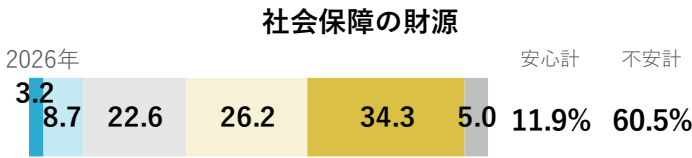
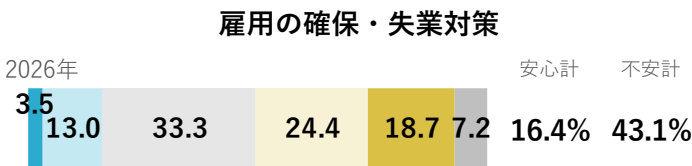
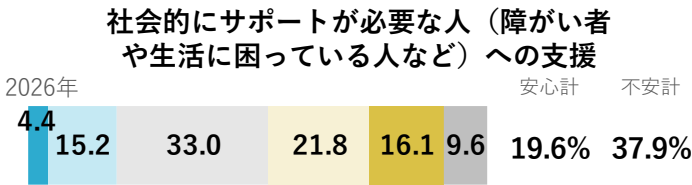
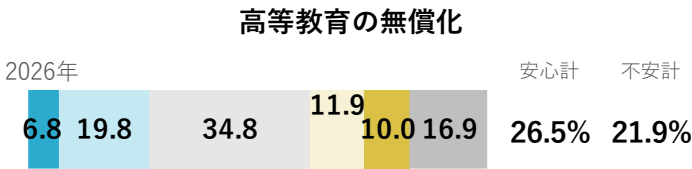
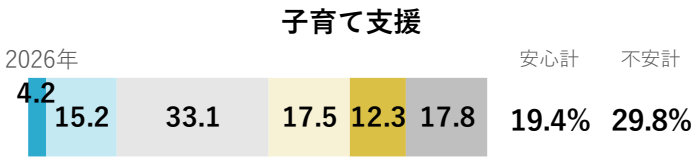
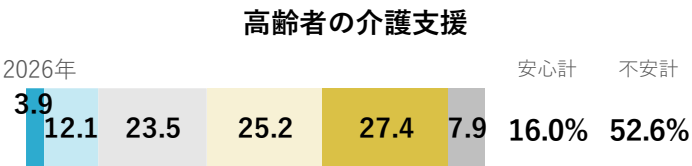
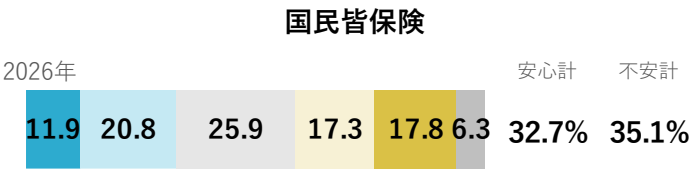
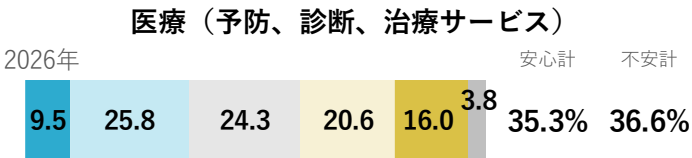
解決すべき課題だと思う(計)：「自ら関わりたいと思う(計)」＋「解決すべき課題だと思うが、自ら関わりたいとは思わない」の合計

【基数：対象者全員（n=12,000）】

③社会制度の信頼性・耐久性

人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

Q2：あなたは、人びとの生活を支える日本の制度やしくみについて、どの程度安心感がありますか。
それぞれについて、あてはまるものをお選びください。【単一回答】



③社会制度の信頼性・耐久性

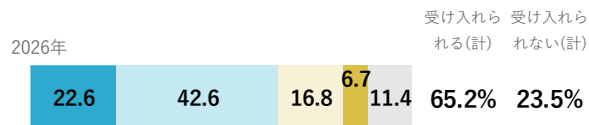
人びとのよりよい人生のために、社会制度・システムは機能しているか

ロボットやAIの受容度

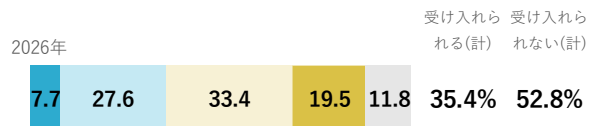
Q19：AI（人工知能）やロボット、AIエージェント（AIを使った自動支援サービス）が日常のさまざまな場面で利用されることについて、あなたはどの程度受け入れられますか。あてはまるものをお選びください。【単一回答】

ロボット

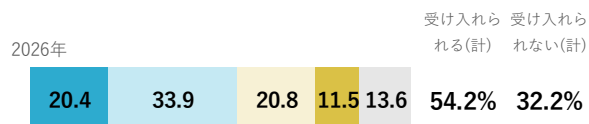
人の手が必要な部分を残して設計されたロボット（ドアの開閉を人が補助する、言葉で人に助けを求めるなど）



家庭内で使用するロボットが機能向上のためにプライバシーに関するデータを取得すること

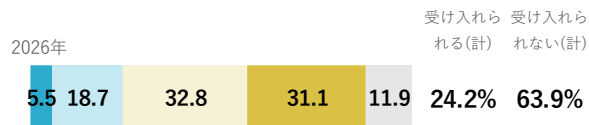


自分がロボットに介護され、排せつの世話などをしてもらうこと

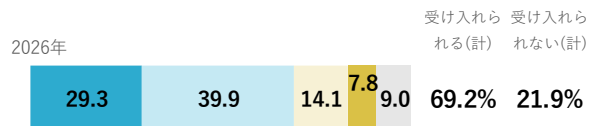


AI

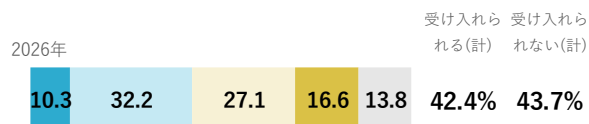
政策についての決定をAI（人工知能）に委ねること



AI（人工知能）が防犯カメラのデータを分析して犯罪者を探すこと

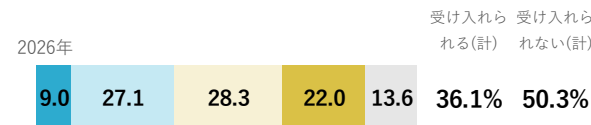


AI（人工知能）に育児・保育を相談すること

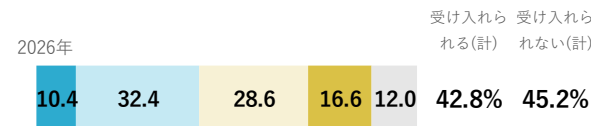


AI、ロボット

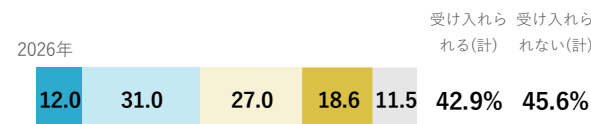
AI（人工知能）やロボットが自分の友人になること



学校の教員や医師など、多様な対応を求められる仕事を、AI（人工知能）やロボットが担うこと

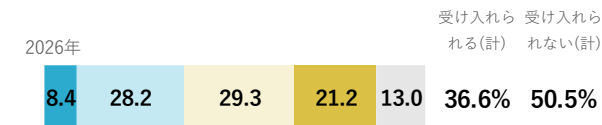


AI（人工知能）やロボットに、センシティブな内容（お金、人間関係、性に関する悩みなど）を相談すること

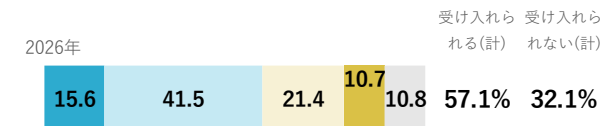


AIエージェント

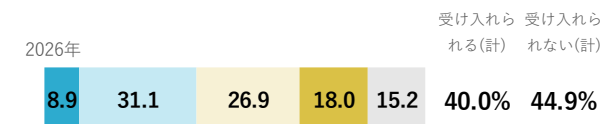
AIエージェントに、資産運用などお金の管理を任せること



AIエージェントに、レストランや旅行の予約など余暇の計画を任せること



AIエージェントに、趣味が合う友人や恋人と出会うきっかけづくりを任せること



「社会の質」に関する人びとの評価 過去調査概要

【2024年6月調査概要】

調査時期 2024年6月

調査地域 全国

調査対象者 18歳～79歳までの男女

対象者割付

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
男性	933	896	1,162	1,043	963	938
女性	901	869	1,140	1,046	1,006	1,103

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比にそろえて回収

サンプル数 12,000人

調査方法 インターネット調査

調査実施機関 電通マクロミルインサイト

【2025年6月調査概要】

調査時期 2025年6月

調査地域 全国

調査対象者 18歳～79歳までの男女

対象者割付

	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
男性	933	896	1,162	1,043	963	938
女性	901	869	1,140	1,046	1,006	1,103

※性×年代（10歳刻み）の人口構成比にそろえて回収

サンプル数 12,000人

調査方法 インターネット調査

調査実施機関 電通マクロミルインサイト

分析軸およびスコア比較時の標本誤差

■標準誤差について

2026年6月調査と過去調査（各12,000サンプル）の標本サイズの誤差幅は、信頼区間95%とし、誤差値が最大となる50%の回答スコアで計算すると約±1.3（※）となります。

2時点の差が±1.3ポイント以上あるものは、有意な差があると見なされます。

（※）小数点第二位まで表記すると1.27となるが、レポートでは小数点第一位までの表記のため統一し1.3と表記。

属性別にブレイクダウンした場合の誤差幅

I. 「社会の質」に関する人びとの評価 （2026年6月調査／2025年6月調査）

		n=		有意差
		2026年6月	2025年6月	
全体		12,000	12,000	± 1.3
性別	男性	5,935	5,935	± 1.8
	女性	6,065	6,065	± 1.8
年代	18-29歳	1,834	1,834	± 3.2
	30代	1,765	1,765	± 3.3
	40代	2,302	2,302	± 2.9
	50代	2,089	2,089	± 3.0
	60代	1,969	1,969	± 3.1
	70代	2,041	2,041	± 3.1

II. 社会に対する人びとの意識の現在地 （2026年6月調査／2025年6月調査）

		n=		有意差
		2026年6月	2025年6月	
全体		12,000	12,000	± 1.3
性別	男性	5,935	5,935	± 1.8
	女性	6,065	6,065	± 1.8
性年代	男性18-29歳	933	933	± 4.5
	男性30代	896	896	± 4.6
	男性40代	1,162	1,162	± 4.1
	男性50代	1,043	1,043	± 4.3
	男性60代	963	963	± 4.5
	男性70代	938	938	± 4.5
	女性18-29歳	901	901	± 4.6
	女性30代	869	869	± 4.7
	女性40代	1,140	1,140	± 4.1
	女性50代	1,046	1,046	± 4.3
	女性60代	1,006	1,006	± 4.4
	女性70代	1,103	1,103	± 4.2

* 比率の差の標準誤差公式

$$E = 1.96 \sqrt{p(1-p) \left(\frac{1}{n_1} + \frac{1}{n_2} \right)}$$

クオリティ・オブ・ソサエティ指標2026

2026年10月

➤ 本調査内容に関するお問い合わせ先
qsociety@dentsusoken.com
担当：中川、増田、齋藤
g-pr@group.dentsusoken.com
コーポレートコミュニケーション部

